

【教養課程】 『チェアーサイドとラボサイドにおけるコンセンサスを高めるために』

日技認定講師  
(東京都歯科技工士会)

山口 周行

私たちはチェアーサイドに対し「よくわかっているつもりでわかっていない」また、「わかってもらえているようでわかってもらえていない」ことを日々臨床の中でいまだに多く痛感します。

分業化したデンタルスタッフの間においてロスとリスクを出来るだけ少なくするために相互理解が必要なことは今までもよく耳にしてきました。しかし「増やしたつもりの知識を現場のルーティンワークに活かしきれていない現実」が繰り返されているところを見ると、定期的にこうした話題展開は必要なのかもしれませんし、また今後さらに多種多様化する補綴物の材料や製作方法を鑑みても、その中で普遍的に持ち続けておきたい基礎知識は何か、そしてそれをどう発展応用していくべきかを今一度考えておく必要もあろうかと思えます。事例をもとにできるだけユニークな切り口でご紹介したいと思えます。

【専門課程】 『歯科技工士のための咬合学入門』

日技認定講師  
(東京都歯科技工士会)

山口 周行

歯科技工の道を歩んでしばらくすると「咬合を勉強したいのだけれどどこからやったら良いかわからない」という話を耳にすることがあります。おそらくそこには学校や講習会・講演会で勉強してきた机上の「理論的背景の全体像」と、今日の前にあるラボデスク上の仕事への「臨床に活かせる具体的手法」が合致しないことが多いからでしょう。

私達歯科技工士が「咬合」を理解するにあたっては、AやBあるいはCといった一つ一つの小さな問題をしらみつぶしに解決しつつそれらを整理・区分けしながら紐解いていくのが良さそうですが、それはちょうどキューブゲームの攻略のように、まず1面、次いで2面、3面と順序立てて進めるのが良いと考えています。しかしある時点からはせつかく作った前段階のカラーピースを再度崩しつつも全体の構成を見渡しながら、結果的にすべての面を同時に仕上げる第三の目も必要になるのかもしれない。5面、6面と難題はさらに深化して思う以上に簡単ではありませんが、その攻略を皆さんとともに考えてみたいと思えます。

【略 歴】

1965年	熊本県生まれ
1985年	東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校 本科 卒業
1987年	同校 実習科 修了
1993年	有) シュウデンタルラボ 設立 (2010年より 有) S D L に改名]
1993年～	日本歯科技工士会 生涯研修認定講師
1995年～2012年	東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校 非常勤講師
2005年～2011年	KAVO 公認プロター咬合器インストラクター